

## 永山まちづくり実行委員会・各実行委員会の経過・予定報告

開催日時 平成29年12月5日(火) 18:00～19:45

参集 9実行委員会(出席18名, 欠席2名)

主要結果

※実行委の報告に、現在までの状況を加筆している。

実行委員会名	経過報告・今後の予定
永山SOSネットワーク 推進委員会 (会長 山田幸作)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトココの実証結果から、12月中旬～1月に、今後の活用について検討を予定している。また、平成30年度活動計画についても検討を深めていく。</li> <li>・親機と子機ワンセットを所有しているが、今後の本格運用に向け、親機3台(12,000×3台=12,000)、子機10台(3,000×10台=30,000)の取得を考えたい。市の規程では、2万円以下は備品扱いにならない(消耗品費で購入できる)と聞いている。子機の購入には、まち協予算を充当したく、今後の事業間予算調整で財源ができれば実施したい。</li> </ul>
冬みち守り隊 (隊長 葛西輝昭)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域説明会は4地区で予定していたが、猛雪のため、第3市民委員会の説明会は中止した。南地区は今年が実施初年である。</li> <li>・間口排雪の目印(ポール立て)については、第三地区では昨年度冬に導入し評判は良かった(第3市民委では今冬は114本の予定)。</li> <li>・地域パトロールは、各地区で1月に実施予定。※1/22第3, 1/23南西, 1/26第2。南地区は近日決定予定。</li> <li>・自主排雪については、まち協で一定程度の予算措置があり、希望あれば連絡してもらおうことにしている。</li> </ul>
永山南きづな推進委員会 (会長 桑島保夫)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、30名程の参加者数で推移している。1～2名だが新規参加者がある。徐々に地域に浸透してきていると感じている。</li> <li>・保育園、ふまねっとの協力も得ている。</li> <li>・参加者負担金だけでは運営が厳しく、世代間交流事業が地域協賛を集めたのと同じように、きづなカフェの運営に関しても、地域企業との連携、協賛を得ていく活動を考えたい。</li> <li>・12月27日はきづなカフェのクリスマスイベントを企画(南, 南西地区の全戸配布, 社協広報誌への折り込みで周知)。悪天候のため、子どもの参加が無かったが、来客約30名, ギター&amp;アコーディオンのミニ演奏会も好評であった。</li> </ul>
永山地域文化振興実行委員会 (会長 信木晴雄)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・永山地域生活史については、聴き取り調査を開始し、現時点で、対象16名中5名の聴き取りを完了している。残る10名余の聴き取りについては年度内の完了が難しい見込みで、次年度にいくらか食い込むが、冊子発行は予定通り次年度に行える予定である。また、寄稿の方も3校提出がある。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子発行には約 40 万円を必要とする。市の補助金予算がオーバーしているとの話しから、実行委員会で相談し、地域協賛活動を行うことを決め、早速実施したところ、順調に協賛が集まっている。おそらく、市の補助金なしで発行できる。</li> <li>・文化振興の若年者啓発普及にも力を入れている。上川総合振興局のカムイミンタラホールコンサート出演（来場 140 名）、地域の小中高 9 校へ訪問協力要請など。永山ふるさと祭り（6 月）、永山文化祭（10 月）、公民館フェスティバル（2 月）の恒例文化行事も継続して実施している。</li> </ul>
<p>農家の食卓でエコなお食事会実行委員会 （会長 藤井やよい）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の取組、それにエコも取り入れて、地域に広げてきている感触がある。</li> <li>・補助金を活用しながら、予定した事業は順調に進めている。1 月 25 日には出前料理教室、2 月 21 日には南、南西地区との協働で農家の食卓を実施する。11 月、12 月にも追加事業あり。</li> <li>・将来的には自助努力で事業継続を目指したいが、補助なしではなかなか厳しい面もある。</li> </ul>
<p>永山食べきり協力店マップ実行委員会 （会長 江口尚文）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度にはじめて取り組んだエコマップでは、エコとは何かから始まり、相応の苦労はあったが、1 冊目の発刊を成し遂げることが出来た。配布に時間を要し、9 月に配り終えたところである。</li> <li>・平成 29 年度は、バージョン 2 の発刊を予定し、今冬の地域の調査を実施して、年度内に原稿化し、事業成果品とする。配布は越年すると想う。</li> <li>・ライナーネットワーク、北海道新聞社が記事になった。1 月に NHK 取材があり、道北地域のニュースになる予定。</li> <li>・エコについての調査項目であるが、実行委員からもご意見あれはいただきたい。</li> <li>・エコについてたいへん勉強になった。今年度は、食品ロスの確認、深化した聴き取りを実施して、よりバージョンアップしたものを作っていきたいと思っている。</li> </ul>
<p>永山地域医療専門家連携実行委員会 （会長 伊藤広也）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度の第 1 回講演会（4 月 22 日）について準備を進めている。また、後半期の第 2 回講演会（10 月 21 日予定）も早めに企画を進めていく。</li> <li>・ネットワークに薬剤師（薬局）を加えるべく、3 月までに域内の薬局回りを行って行く。</li> <li>・今後取り上げたいテーマは、「認知症」「子どもと大人のアレルギー」「肺炎」「糖尿病の合併症」など。</li> </ul>
<p>永山地域経済活性化中長期計画策定検討会 （会長 河田祐也）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は地域アンケートの設計に前半期時間を要した（7 回の会議をもった）。</li> <li>・10 月に調査票が完成し、11 月初旬まで地域アンケートの実施回</li> </ul>

	<p>収を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集計作業は2月頃に終了予定で、永山住民のニーズ把握、次年度に向けた戦略プランの素材をまとめていきたい。</li> <li>・いくつかのアンケートを見る限りでは、高齢者は比較的困っていないが、若者が不自由を感じている様子が見えかけた。</li> </ul>
<p>永山地域世代間交流事業 実行委員会 (会長 工藤博視)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「七夕まつり・夏まつり」(8月)、「昔あそび」(10月)、「クリスマスオーナメント飾り&amp;コンサート」(12月)、「アイスクャンドル」(2月)の4事業を計画し、「昔あそび」では地域人材(小澤氏)を起用した竹とんぼコーナーがたいへん好評であった。</li> <li>・「クリスマスオーナメント飾り&amp;コンサート」(12月9日開催)では、北かり、ベストプライス、コープ札幌、永山イオンの4店から、参加者に配布するお菓子の協賛をいただいた。また、永山小学校吹奏楽部の演奏もあって、来場は約150名であった。</li> <li>・現在は、アイスクャンドルに向けて鋭意準備中。</li> </ul>